



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆ 希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校
平成28年10月17日 NO.7
042-541-2940
創立37年目(昭和55年開校)

『体力調査と学力調査からみえるもの』

校長 長野 基

朝夕の冷え込みが、突然の秋の訪れを感じさせる今日この頃です。いよいよ来週は合唱祭。校内では寒さを忘れるほどの熱の上がりようです。

さて、福島中学校では、体力向上に向けて持久走を重視し、体育の授業では準備運動の工夫および豊富な運動量の確保を実践しています。また学力向上に向けては、教師が「良い授業」を行うことで確実に成果につなげるよう実践しています。規則正しい生活と3度の食事、十分な睡眠を大事にして、健全な体づくりと確かな学力の定着を目指します。以下は、今年度の調査結果です。ご家庭でも参考にいただき、お子様の健やかな成長にご協力ください。

《平成28年度 体力・運動能力調査結果》

各項目の数値については、生徒に配布している個人結果票をご覧ください。

ここでは、本校の平均値と全国平均値、東京都平均値の比較をお知らせします。

◎印は本校の平均値が、全国平均・東京都平均値を上回っていることを示しています。

○印は本校の平均値が、全国または東京都のいずれかの平均値を上回っていることを示します。

全66の調査項目中、29項目で全国・東京都両方の平均値を上回りました。

全66の調査箇所中、18項目で全国または東京都の平均値を上回りました。

全66箇所中、19箇所全国・東京都の平均値に達しませんでした。

	1年生男子	2年生男子	3年生男子	1年生女子	2年生女子	3年生女子
身長	◎		○	○	◎	
体重	◎	○	◎	◎		
握力	◎	◎	◎	◎	◎	◎
上体起こし	◎				◎	◎
長座体前屈	◎	◎	◎	◎		◎
反復横とび	◎	○		◎		
持久走	◎	○	○	○	○	◎
50m走	◎				◎	
立ち幅とび	◎	◎	◎	○		
ハンドボール投げ	○		○		○	○
合計点	◎	○	○	○	○	○

本校では、平成26年度より「全身持久力」の向上を学校課題とし、保健体育科体育分野での授業や部活動等、学校の教育活動全般で取り組んできました。その成果が表れていると考えます。

今後、「昭島市総合的な体力向上を図る補強運動」を活用して「上体起こし」・「50m走」の課題を克服していきます。

《平成28年度 全国及び東京都学力調査の結果》

(1)【全国学力・学習状況調査の結果】…平成28年4月 第三学年実施

		国語A (知識)	国語B (活用)	数学A (知識)	数学B (活用)
平均正答率	福島中3年生	74.0%	72.2%	58.6%	41.1%
	全国	75.6%	66.6%	62.2%	44.1%
	東京都	76.9%	68.6%	63.5%	45.6%
	昭島市	74.9%	65.3%	58.9%	40.8%

＜質問紙からの課題＞
 ○家庭での学習時間（平日）
 1h未満⇒65.5%
 （全国平均⇒65.8%）
 ○スマホ等使用時間（平日）
 2h以上⇒37.0%
 （全国平均⇒30.1%）

(2)【生徒の学力を図るための調査】…平成28年7月 第二学年実施

注：東京都平均は速報値		国語	社会	数学	理科	英語
正答率 平均	福島中2年生	64.9%	52.5%	50.7%	53.4%	51.6%
	東京都	70.7%	57.7%	56.4%	54.8%	55.4%
	昭島市	66.7%	53.8%	50.5%	51.2%	47.6%

＜質問紙からの課題＞
 ○学校以外の学習時間
 1h未満⇒66.5%

【各教科等の成果と課題】

＜国語＞

語彙の豊かさを図る問題での正答率が低かった。まとまった時間を確保して指導をすれば伸びる力ではないので、普段の授業での積み上げや、読書指導による語彙力の伸長を目指す。また、授業規律など、授業態度の改善が第一歩である。

＜社会＞

地理的分野では、地図を多く用いたり、自地図作業を活用させることに取り組む。国名や地形、都道府県の位置や名称等、基礎知識の反復学習が必要になる。また、気候の仕組みや組織の仕組みの説明させる活動の充実やグラフの読み取り作業を充実させることが必要となる。

歴史的分野では、年代順の整理、歴史的事象の背景の理解、時代の変化を踏まえた政治史、歴史地図に取り組む。

＜数学＞

長文の問題では回答に必要な情報が読み取れていないことが伺われる。言語活動の充実を図り、長文の演習問題に多く取り組む。実践している「再テスト」では技能に関する問題を多く扱ってきたが、見方・考え方に関する問題にも取り組む。

＜理科＞

問題文の意味が理解できていない割合が多く、重要語句を穴埋めするだけの問題ばかりでなく、意味を説明させる問題に取り組ませる。計算問題では特に、百分率の計算と、比の計算ができていない。小テストのみならず、定期考査でも取り上げていく。

＜英語＞

文の内容を読み取る問題や、正しい文法を選択する問題については高い正答率であったが、書く問題、特に自分で文章を作って表現する問題についての正答率が低かった。自己表現をメインとして、既習の文法を用いて英文を完成させる学習に取り組んでいく。

＜質問紙＞

- ▲ 「家庭での学習時間」が不足しており、その原因にはスマホの利用時間が長過ぎることが考えられます。
- ▲ 同様に、「読書」の時間が東京都平均を大きく下回っており、これは本校の経年課題となっています。
- ▲ 「地域の行事やボランティア活動への参加」経験が少なく、家庭と学校が連携し趣旨を理解させた上で参加を促すことが必要になると考えられます。
- ◎ 「朝食を摂る」、「就寝・起床」等の基本的な生活習慣はほとんどの生徒が身に付けられています。
- ◎ 「自分には、よいところがあると思うか」に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」が東京都の平均を大きく上回っており、本校の教育方針の「自尊感情を高める」ことは達成できています。
- 本校の授業では、授業者が「目標(めあて・ねらい)」が明確に示し、生徒も授業で何を学ぶかを理解しながら学習に取り組むことができています。